

指揮者紹介

山本 章彦



1959年広島市生まれ。
1982年4月大学卒業とともに広島交響楽団にステージマネージャーとして入社。
以降、事業担当をはじめ様々な業務を担当し、2025年5月に66歳で退職。
在職43年2カ月。
元広島交響楽団管理部長。
現在、広島交響楽団アンサンブル業務委託プロデューサー、はつかいち室内合奏団
SA・KU・RA、はつかいちジュニア弦楽合奏団NO・ZO・MIアドバイザー、四季
が丘プラス指揮者。日本演奏連盟、日本吹奏楽指導者協会各正会員。
趣味はフルート、大型バイク、車、オーディオ、美味しいものと美味しいお酒。

出演者

Conductor 山本 章彦 中澤 智 横山 裕己

Flute/Piccolo

伊吹 恵子
山東 雅美◎
柴野 方子
兼川 怜★

Clarinet

西山 京文子◎
林 優美◎
原田 朱美
萬度 佳那子
萬度 志衣菜
宮下 妃愛
山本 恭正★

Oboe/Fagotto

山本 恭正★

Saxophone

庄野 哲平

土井 綾子

野崎 理砂

森岡 剛

Trumpet

高見 慎一

宮下 結愛

新中 安幸★

中村 裕三★

Horn

乾 由賀里

宮下 裕美子

横山 裕己

Trombone

入江 靖彦

大田 安奈

Euphonium

秋山 巖賢

Tuba

西村 英晃

String Bass

中澤 智

Percussion

新田 利樹

安平 祥世

芳澤 寿子

Piano

萬度 志衣菜

Supporter

小野 結実◎

山東 来実♪

芳澤 蒼依

司会:◎ 賛助:★ 歌:♪

志を 果たして
いつの日にか 帰らん
山はあおきふるさと
水は清き ふるさと

如何にいます 父母
恙無しや 友垣
雨に風につけても
思い出する ふるさと

忘れがたき ふるさと
夢は今もめぐりて
小鮒釣りし かの川
兎追いし かの山

故郷

作曲 岡野貞一
作詞 高野辰之



部員募集

練習日: 第2/第4日曜日 9:00~12:30

部費: 月額¥1,000

募集楽器: ご相談ください

連絡先: 四季が丘市民センター 0829-38-3365

見学・体験など、お問い合わせは上記TELもしくは

公式Instagramまで



SHIKIGAOKA_BRASS



Shikigaoka Brass

四季が丘ブラス

第5回

定期発表会



日時 2025.12.14 SUN.

開場 13:30 開演 14:00



会場 四季が丘市民センター 廿日市市四季が丘5-13-3



13:40~

ウェルカムコンサート



FOLLOW ME



SHIKIGAOKA_BRASS

【主催】四季が丘ブラス 【問い合わせTEL】 0829-38-3365(四季が丘市民センター)

【後援】廿日市市教育委員会・廿日市市生涯学習推進本部

ウェルカムコンサート

1. アシタカとサン (金管五重奏) 作曲:久石譲 金5

1997年公開のスタジオジブリ映画「もののけ姫」の終盤に流れる楽曲。人間ともののけの争いにより焼けつくされた森が再生していく、感動のラストシーンで流れる曲です。生きる場所の違うアシタカとサンが再会を約束し、それぞれが生きる場所へと帰っていきます。続いていくこと、生きる強さを感じさせてくれる曲です。

2. アンパンマンのマーチ 作曲:三木たかシ/編曲:赤塚謙一 ジャジパンマン

原曲のメロディを生かしつつ、明るく前向きなノリと休符のメリハリを意識して演奏します。「こんなにミディアム・スウィングが似合うアニメソングがあるんだね!」と言っていただけると嬉しいです。途中で出てくる、アレンジのきいた各楽器のソロパートもお楽しみに♪普段とは違う楽器にチャレンジの団員もがんばります!

第一部

1. 20世紀FOXファンファーレ 作曲:アルフレッド・ニューマン/編曲:真島俊夫

映画会社20世紀フォックス(現在の20世紀スタジオ)のオープニングロゴで流れる、たいへん有名なファンファーレです。1935年に初めて使用されて以来、世界中のファンに親しまれてきました。たった数十秒の短い曲ですが、映画館でこれから大作が始まるようなワクワクした気持ちで聴いてみてください。

2. 虹の彼方に～楽器紹介のための～ 作曲:ハロルド・アーレン/編曲:樽屋雅徳

1939年のアメリカ映画『オズの魔法使い』の挿入歌として作られました。主人公のドロシーが平凡な日常を離れ、虹の向こう側にある夢のような場所、つまり希望に満ちた世界を強く願う気持ちを歌っています。様々な楽器が原曲の持つ美しい旋律と壮大な世界観をどのように作り出しているか、ナレーションとともにぜひご注目ください。

3. マーチ・ワンダフル・ヴォヤージュ 作曲:一ノ瀬季生

2018年度全日本吹奏楽コンクール課題曲だったこの曲は、とても爽やかで明るい雰囲気のマーチです。タイトルを日本語訳すると「素晴らしい旅」ですが、海をテーマにした曲ですので「船旅」と言いかえても良いかもしれません。曲のはじめのメロディが3回登場する部分など、徐々に目的地に近づいていく様子も想像しながら演奏します。

4. 吹奏楽のための民話 作曲:ジム・アンディ・コーディル

別名「バンドのための民話」と呼ばれているこの曲。出版は1964年ですが現在でもプロを含めた多くの楽団が演奏しています。金管の力強いメロディで始まりクラリネットの低音域の勇ましい主題へ。トランペットに受け継がれさらに堂々と奏されます。低音で奏でられる旋律と朴訥としたリズムは「民話」という言葉がぴったりです。

5. 交響組曲「シネマ・トリロジー」～スタジオジブリ・コレクション～ 第1楽章「Sky-Flight」 作曲:久石譲/編曲:杉本幸一

ハトと少年～鳥の人～時代の風～MAMMAIUTO～大忙しのキキ～空中散歩～ふたたび
スタジオジブリの名作アニメーションを彩る楽曲をテーマに、ジブリの世界観をシンフォニックでドラマティックな響きで楽しめる交響組曲として構成された吹奏楽メドレーです。今回は、テーマが「空」の第1楽章を演奏します。空を駆け巡るような爽快感と大きさが魅力です。トランペットのソロで幕を開ける「ハトと少年」(天空の城ラピュタ)。さわやかで希望に満ちた、まさに「空へ飛び立つ」瞬間を感じさせます。「鳥の人」(風の谷のナウシカ)では一気に壮大な雰囲気へと変化しタイトル通り大空に舞い上がったかのようなスケール感を味わえます。「時代の風-人が人でいられたとき-」(紅の豚)「MAMMAIUTO」(紅の豚)「大忙しのキキ」(魔女の宅急便)と続き、『空中散歩』(ハウルの動く城)のパートでは打楽器のアンサンブルやフルート、クラリネットのソロなど聴かせどころが散りばめられています。空が表情を変えるように曲調が変化していく様子が楽しめます。「ふたたび」(千と千尋の神隠し)は穏やかな曲調で始まり、フルートソロやピアノソロが美しいメロディを受け継いでいき、抒情的な雰囲気を醸し出します。最後は全楽器が加わり盛り上がりは最高潮へ。そしてフィナーレを迎えます。このように、静から動へ、そして再び壮大さへと展開するドラマティックな構成が魅力です。

アンサンブル

1. 魔女の宅急便メドレー (クラリネット五重奏) 作曲:久石譲/編曲:西條太貴 クラ5

旅立ち～仕事はじめ～海の見える街～大忙しのキキ～やさしさに包まれたなら
魔女と人間の間生まれた少女キキが、魔女として生きるために親元を離れて旅立ち、知らない街で暮らし成長していく姿を描いた本作品。スタジオジブリの名作「魔女の宅急便」のシーンが次々と思い浮かぶアレンジです。作品の雰囲気演出する、チーム「クラ5」のステキな衣装もお楽しみに✿

2. il vent d'oro (混成九重奏) 作曲:菅野祐悟 ちゃるちゃる

テレビアニメ「ジョジョの奇妙な冒険 黄金の風(第5部)」で、主人公のジョルノや仲間たちが敵を倒したり、勝負を決めるという瞬間に流れることが多く、勝利の確信を抱かせる曲です。タイトルのil vent d'oro(イル ヴェントドーロ)とはイタリア語で「黄金の風」を意味します。非常にカッコいい曲として人気があり、様々な楽器での演奏や、プロ野球選手(大谷翔平選手など)の登場曲としても使用されています。

第二部

1. スーパーマリオブラザーズ 作曲:近藤浩治/編曲:星出尚志

大人気ゲームシリーズの元祖とも言える「スーパーマリオブラザーズ」のBGMが、バラエティに富んだ構成のメドレーにアレンジされています。編曲者の星出氏は単に原曲を吹奏楽に移し替えるだけでなく、ゲーム内の効果音などを音で表現する「仕掛け」を随所に盛り込んでいます。土管に入る音、コインを取る音などユーモラスな再現もお楽しみに!そして、四季ブラ恒例の仕掛け(演出)にもぜひ、ご期待ください!

2. 宇宙戦艦ヤマト(行進曲バージョン) 作曲:宮川泰/編曲:山下国俊

1970年の中頃に制作されたアニメーション映画の金字塔。物語のすばらしさはもちろんですが、テーマ音楽もたいへん魅力的です。「人間の希望」や「悲壮な決意」を表現したメロディは、時代や世代を超えて多くの人々を魅了し続けています。今回演奏する吹奏楽版は16ビートのリズムを用いたサンバ風マーチとなっています。

3. 世界に一つだけの花 作曲:横原敬之/編曲:郷間幹男

SMAPを象徴する一曲。横原敬之さんが作詞・作曲を手がけました。国民的な大ヒットとなったこの曲は、親しみやすいメロディと心地よいリズム感から吹奏楽の分野でも非常に人気の高い曲となっています。誰もがかけがえのない存在であるという大切なメッセージは多くの人の心に響き続けています。サクソソロにもぜひご注目ください。

4. 情熱大陸コレクション 作曲:葉加瀬太郎/編曲:石毛里佳

エトピリカ～情熱大陸
曲名の「エトピリカ」はアイヌ語で「美しいくちばし」という意味を持つ、日本では北海道にのみごくわずかに生息する、大きくくちばしが特徴の絶滅寸前の美しい海鳥のことです。作曲者はこの鳥の華やかな姿と「大空に羽ばたいていく」イメージから着想を得て作曲しました。つづく「情熱大陸」は、みなさんご存じのテレビ番組「情熱大陸」のオープニング曲です。当時の番組プロデューサーから、30秒でバシッと心に響くメロディを一週間で…という依頼で作られたとのこと!さすがです👏南米大陸をジェットコースターで縦断するようなスピード感のある曲をイメージされたそうです。ソロにもご注目ください!

5. マツケンサンバII 作曲:宮川彬良/編曲:郷間幹男

その名の通り俳優の松平健さんが歌い、2004年頃に社会現象を巻き起こした大ヒット曲です。日本のお祭りの熱狂とブラジルのサンバのリズム、そして豪華絢爛なムード歌謡の要素を融合させた、異文化ミックスお祭りソングです。陽気なリズムを支える低音ベースによって曲の途中で何かが起こる?かも!

6. 花は咲く 作詞:岩井俊二/作曲:菅野よう子/編曲:郷間幹男

2011年3月11日に発生した東日本大震災の復興応援のためのチャリティーソングです。「花」は、単に美しい自然を表すだけではなく、「希望」「未来」そして「失われた命が再び芽吹き、受け継がれていくこと」の象徴です。被災された地域だけでなく、日本全体が忘れないこと、そして、共に生き、未来に向かっていくことを誓う、大切な楽曲として歌い継がれています。